

ひろの町のきれいな水環境を守ろう

かじか通信

Vol. 105



発行：福島工業高等専門学校

TEL 0246-46-0700

広野町建設課

TEL 0240-27-4161

NPO 法人 浅見川ゆめ会議

TEL 090-4479-7232

2026年9月10日発行 隔月発行

トピックス

浅見川清掃作業行いました

2026年8月1日、夏の日差しが照りつける中、ふたば未来学園の生徒の皆さんが、浅見川をきれいにするために力を貸してくださいました。

今回の活動には、男子生徒3名、明るく元気な女子生徒2名、地域の子ども1名が参加しました。参加者全員が声を掛け合いながら、川沿いや河川敷に落ちているごみを丁寧に拾い、ペットボトルや空き缶、プラスチックなど、さまざまなごみが見つかりました。ごみを拾うだけでなく、「なぜ川にごみが集まるのか」「どうすれば川への流出を防げるのか」を考える、身近な環境学習の機会にもなりました。

高校生と子どもが世代を超えて一緒に活動する姿から、自然を守る意識が次の世代へ受け継がれていくことの大切さを改めて感じました。参加した皆さんの笑顔と一生懸命な姿が印象に残る、明るく有意義な清掃活動となりました。

浅見川の清らかな流れと豊かな自然を次の世代へ受け継いでいけるよう、今後も地域の皆さまと協力しながら、環境保全活動を続けてまいります。



理事長より挨拶



川のごみ集めよう



橋の下ゴミ多いね



かわいい川女



皆で分別しよう





河床土・砂放射線量調査

広野町・いわき市の河床土、ため池の土、広野町地区ごとの田の土の放射線量調査を行い、測定結果を紹介しています。放射線量は月ごとにばらつきがあることから、今後も継続的に測定・分析をし、情報を発信します。

◇ 水・土砂中の放射性物質

砂や水の中では、放射性物質の残りやすさに違いがあります。

特に放射性セシウム（Cs-134、Cs-137）は、水の中を流れるだけでなく、細かな砂や泥などに付着する性質があります。そのため、水は流れて移動していきますが、放射性物質が付着した砂や泥は、流れのゆるやかな場所や水路の底、池の底などにたまりやすくなります。

また、大きな砂や石よりも、細かな砂や泥、落ち葉などの有機物が多くたまっている場所の方が、放射性セシウムが残りやすい傾向があります。このため、場所によっては、砂や泥がたまっているところで周囲より放射線量が高くなる場合があります。

表 1 河床土・砂放射線量調査結果

単位：ベクレル

試料名	令和6年					令和7年												令和8年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
浅見川NO1	-	-	45.1	-	-	64.8	-	-	-	-	-	101.0	-	-	184.0	-	-	36.0	-	-	-	-	-	-	-
浅見川NO2	-	-	47.8	-	-	47.0	-	-	-	-	-	30.6	-	-	36.7	-	-	57.0	-	-	-	-	-	-	-
浅見川NO3	-	-	33.3	-	-	ND	-	-	-	-	-	22.3	-	-	21.2	-	-	20.4	-	-	-	-	-	-	-
浅見川NO4	-	-	41.0	-	-	32.6	-	-	-	-	-	22.8	-	-	25.2	-	-	21.6	-	-	-	-	-	-	-
北迫川NO1	-	-	45.1	-	-	27.3	-	-	-	-	-	36.5	-	-	35.7	-	-	53.8	-	-	-	-	-	-	-
北迫川NO2	-	-	47.0	-	-	52.5	-	-	-	-	-	21.1	-	-	24.2	-	-	22.5	-	-	-	-	-	-	-
折木川NO1	-	-	38.0	-	-	ND	-	-	-	-	-	23.1	-	-	28.0	-	-	34.5	-	-	-	-	-	-	-
折木川NO2	-	-	57.3	-	-	48.1	-	-	-	-	-	62.7	-	-	67.0	-	-	22.2	-	-	-	-	-	-	-
小滝平ため池	-	-	70.1	-	-	408.0	-	-	-	-	-	ND	-	-	34.0	-	-	50.6	-	-	-	-	-	-	-
大久川	53.5	-	-	52	-	-	-	-	-	-	-	-	54	-	-	108.8	-	-	-	-	-	-	-	-	ND
夏井川	ND	-	-	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	-	-	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	ND
木戸川	ND	-	-	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	-	-	211.7	-	-	-	-	-	-	-	-	ND
小名入地区(田の土)	-	-	-	277	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	426.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北沢地区(田の土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
代地区(田の土)	-	-	-	448	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	217.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小松地区(田の土)	-	-	-	277	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	370.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沢目地区(田の土)	-	-	-	252	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	350.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ND は不検出、－は測定無
※表の値は、セシウム-137 とセシウム-134 の検出結果を足したものです。
※平成 23 年 9 月より測定開始、令和 6 年 8 月から令和 8 年 8 月までを表示しました。

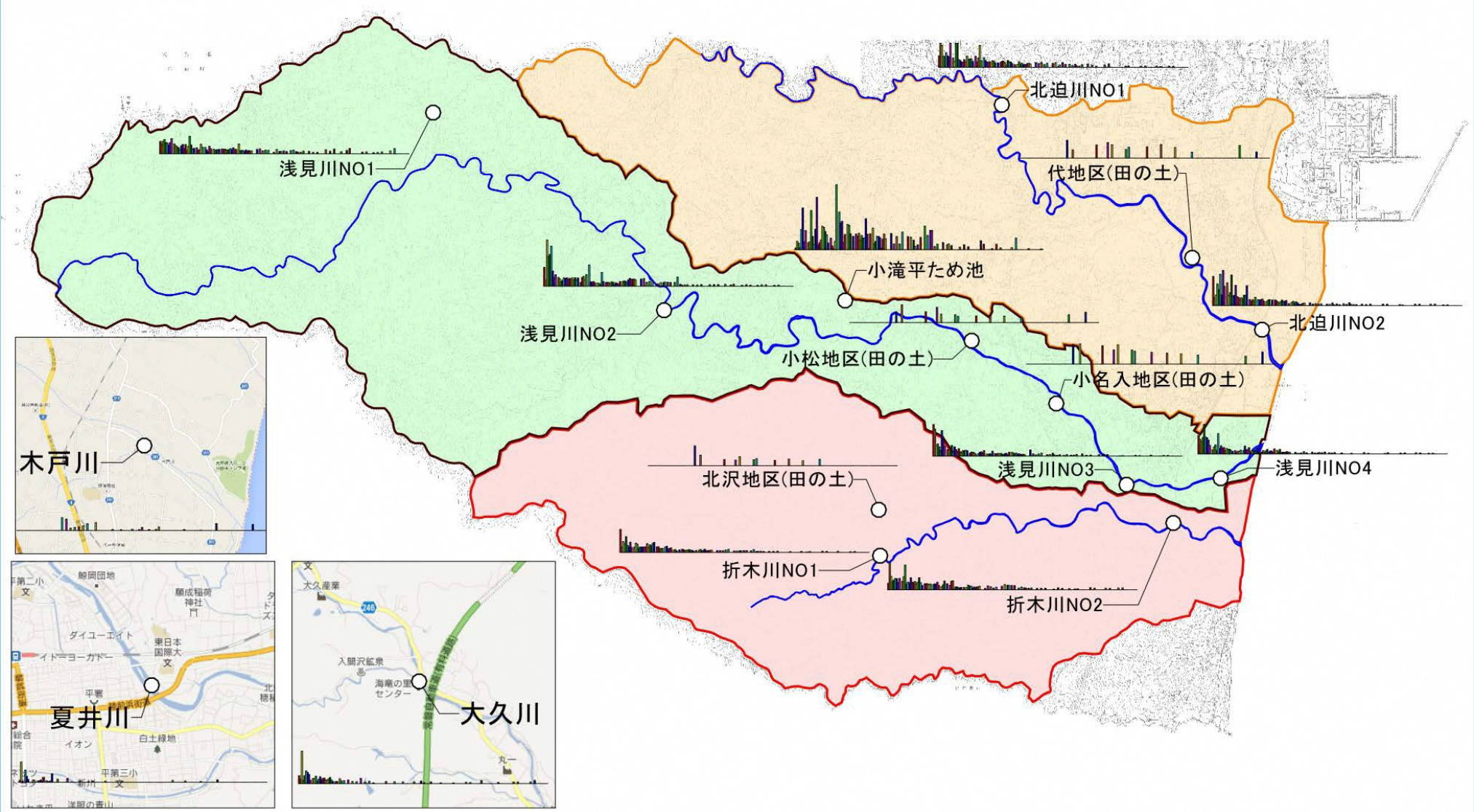


図 1 河床土・砂放射線量調査結果位置図

河川水・井戸水から検出されていませんが、川魚からは国の基準値を超える放射線量が検出されています。

単位：ベクレル

[illegible]

※平成23年9月より測定開始、令和6年8月から令和8年8月までを表示しました。



図 2 水・川魚放射線量調査結果位置図